

## 今日の聖書のことば

### 1 月24日(日) レビ 13章

健康に関する律法です。らい病に起因する汚れについて示されている。神の民にとって汚れはきわめて重要なことでした。当時最も恐れられ嫌われていた病気が広がるのを隔離することによって防止することが目的でした。

### 1 月25日(月) レビ 14章

ここではらい病がいやされた時に行う清めについて記されています。古代の近東でこれまで発見された処置が記されている。らい病が私たちの罪を表しているように、らい病からの清めは、私たちのいまわしい罪からの清めを表しています。

### 1 月26日(火) レビ 15章

この章では性的問題が扱われています。私たちの全生活は神の恵みの場である以上、性に関することも正しく扱わねばなりません。私たちのあらゆる面を、神の前にもう一度正しく評価して生きなければなりません。

### 1 月27日(水) レビ 16章

ここには贖罪の日のことが述べられています。これは年に一度大祭司が、神の民全員のために贖いをする大事な日です。新約聖書へブル書9章に、以上の儀式は御子イエスの十字架による贖いのひな形だと教えています。

### 1 月28日(木) レビ 17章

イスラエルの民はごく初期から、偶像礼拝の悪と血の神聖なことについて教えられていました。血はいのちを表していたのです。旧約聖書に出てくる犠牲の血は、十字架で私たちの罪の救いのために成し遂げられたキリストの犠牲を表すものです

### 1 月29日(金) レビ 18章

ここには結婚の神聖性と性を重んずべきことが述べられている。性はもちろん肉体的なことではない。それを正しい結婚に結びつけなければならない。神の民にふさわしい生活をすべきことが述べられている。

### 1 月30日(土) レビ 19章

生活全般におい聖く歩むべきことが命じられています。主なる神は、イスラエルの民が、ほんとうに聖い民となることを望んで、これらの戒めを与えられました。主は今も私たちにも同じ思いを思っておられます。

---

## ろば No. 2003

2021年 1月 24日  
日本バプテスト立川キリスト教会  
牧師 大川 博之

---

マルコ 1:14-15

ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤへ行き、神の福音を宣べ伝えて、「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」と言われた。

「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい。」イエスの宣教の第一声です。私たちの誰一人として、神の国に入れられることを願わないひとはありません。永遠の平安を願っています。バプテスマのヨハネが出現して、人々に罪の悔い改めを迫ったとき、彼らは自分自身を見つめさせられました。そして悔い改めて、ヨハネから清めのバプテスマを受けました。

「悔い改める」とは一般的に、過去の過ちを反省して、心を入れ替えると言う意味に用いられますが、聖書が求める悔い改めは違います。

新約聖書の中で「悔い改め」の言葉が22回用いられていますが、意外とパウロはこの言葉をあまり使用してはいません。けれどもルカは福音書と使徒言行録を合わせると、他と比べてかなりの頻度数になっています。このことはおそらく、「悔い改め」

(ギリシャ語・メタノイア)と言う劇的な人間の体験が、パウロにもルカにも同じようであったと思われませんが、パウロの場合は、神を信じ律法を信じていた彼が、復活のイエスに出会って、イエスが自分にとってキリストとなったと言うこと(つまり回心)を意味していました。

しかし、ギリシャ人であるルカには、自分が信じてきたギリシャの伝統的な神々とは全く違った唯一の神を信じ、同時にキリストを仰ぎ、救われると言うことを意味していました。つまり「悔い改め」という言葉の意味するところ、自分の思いや計画を根本的に変えるという、自分の人生を全く変更すると言う意味の強さが、パウロとルカの思いの強さを示しているとも推測されます。しかしパウロは「神のみこころに添った悲しみは、後悔のない、救いに至る悔い改めを生じさせます」(コリト二7:10)と言